

普及活動情勢報告（平成 31 年 4 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

香美地区ピーマン部会現地検討会の開催！



JA高知県香美地区園芸部ピーマン部会が4月9日に現地検討会を開催し、生産者が10名と研修生1名が参加しました。最近、南国市と香南市では、地域を越えた交流が始まっており、今回も南国の生産者1名が参加し生育や管理状況について学び合いました。

農業改良普及課は、蒸発散量に応じたかん水管理技術について説明し、生産者からは「毎日水をかけるのではダメなのか」「pFメーターは土の水分状態を数値で見られて便利やね」等、盛んな意見交換が行われました。

農業改良普及課は、今後も現地検討会や栽培講習会で生産者の栽培技術の向上を図っていきます。

産地間連携で反収 5 t を目指そう！ ～香美地区 露地オクラ現地検討会～



4月5日、8日に香美地区露地オクラ現地検討会が開催され、21名が参加しました。南国市の生産者3名と営農指導員1名も参加し、活発な意見交換が行われ、南国市の生産者からは、「定植の2ヶ月前には畦を立てておかないといかん」「面倒でも5回程度丁寧に耕耘することで除草の手間が省けることが分かった」等の声がありました。また換気のタイミングについても双方が実践している方法を学び教えあっていました。

農業改良普及課は、生育調査や巡回指導を行い、得られた結果を次の現地検討会で周知していきます。

やっこねぎ部会「地区別現地検討会」を開催



JA 高知県香美地区やっこねぎ部会は、4月12日に香北地区現地検討会を開催し生産者6名が参加しました。

農業改良普及課では、夏期安定生産技術として、灌水方法や遮光資材の説明、また省力化技術として自動灌水装置の導入啓発を行いました。参加者からは、灌水時間や遮光方法等について様々な意見や質問が聞かれました。

今後、農業改良普及課では、周年安定生産、出荷量維持のために、技術・組織面の強化に向けて支援していきます。

ニンニクの生産拡大に向けて！（JA高知県香美地区ニンニク部会の新たな取組）



ニンニク部会が香南市で3月13日に現地検討会を、また3月25日に役員会を開催し、生産者がそれぞれ8名及び3名参加しました。現在ニンニク部会員は13名で、最近出荷量及び販売額は増加傾向です。規模拡大を図るために生での出荷に加え、今後の取組として収穫後乾燥・貯蔵し出荷する「乾燥ニンニク」について協議しました。農業改良普及課は、玉（りん茎）の品質を確保するための乾燥方法等の情報を提供しました。「乾燥ニンニク」に対する生産者の関心は高く、多くの生産者が将来的に取り組みたいとの意向を示しました。今後農業改良普及課は、次作での本格実施に向けて乾燥試験等に協力していきます。

新規就農者確保に向けた「香南市実践型研修ハウス」が完成！



産地提案型担い手確保をさらに推進するため、就農初期の農地・ハウス取得の負担を軽減し、技術・経営能力の早期習得や経営安定につなげることを目的に、かねてより建設中だった香南市実践型ハウスが昨年度末に完成しました。農業改良普及課は5月から利用希望者の募集を開始するため、農業・移住関係機関で構成される香南市労働力確保対策検討部会で、研修ハウスの運用等について協議を重ねてきました。今後は利用者の技術指導を行うとともに利用者同士の交流も図っていけるよう支援していきます。